



970g、そして圧倒的に  
究極のビジネスモバイル HP EliteBook Folio G

- ホーム ニュース スポーツ おでかけ グルメ 映画 プレゼント 地図 GIRLS+ 仕事
- 社会 政治 経済 暮らし・話題 地域 こち女 おやこ 芸能・文化 医療・健康 科学

アットエスTOP > ニュース > 暮らし・話題 > 静岡暮らし・話題 > 「何もないぜいたく」提案 掛川のキャンプ場が再オープン

静岡新聞 NEWS

G+1

1

BI 1

チェック

ツイート

シェア 110

## 「何もないぜいたく」提案 掛川のキャンプ場が再オープン

(2016/10/18 17:30)

「携帯電話は通じない」「とても行きにくい」一。2年前から閉鎖中だった掛川市山間部の「明ヶ島キャンプ場」（同市炭焼）が、こんな不便さをあえて前面に打ち出して再オープンする。五感を研ぎ澄まし、四季の豊かな自然と穏やかな時の流れに身を委ねる「スローライフ」がここでの過ごし方。関係者は「何もないからこそその価値観」を提案したいと意気込む。

市中心部から北へ車で1時間。携帯電話が圏外になった後も細い山道をひたすら進むと、同キャンプ場に到着。緑に囲まれ、せせらぎと鳥の鳴き声だけが響く。同市のアウトドアプロデューサー松山拓也さん（43）は「星空も素晴らしいです」と教えてくれた。

同キャンプ場は1978年度の建設。2013年度末に市と使用貸借契約を結んでいた個人が運営から退き、休止に追い込まれた。

新たな管理者が見つからず、市役所内でも「廃止やむなし」の雰囲気漂っていた中、地元の建設業「山田」＝山田珠一社長（36）＝が「地域の活性化に貢献したい」と名乗りを上げた。市からの無償貸与と松山さんの協力を受け、15年5月に再整備に着手した。



新たなコンセプトで再整備された明ヶ島キャンプ場＝14日、掛川市炭焼



炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場

« 前へ

1

2

次へ »



このバナーを見た方限定  
コンパクトでパワフルな  
デスクトップPCが、



ホーム ニュース スポーツ おでかけ グルメ 映画 プレゼント 地図 GIRLS+ 仕事

社会 政治 経済 暮らし・話題 地域 こち女 おやこ 芸能・文化 医療・健康 科

アットエスTOP > ニュース > 暮らし・話題 > 静岡暮らし・話題 > 「何もないぜいたく」提案 掛川のキャンプ場が再オープン

静岡新聞 NEWS

G+ 0

BI 1

チェック

ツイート

シェア 110

## 「何もないぜいたく」提案 掛川のキャンプ場が再オープン

(2016/10/18 17:30)

### ■ 22日プレオープン

老朽化したコテージや管理棟を修繕し、荒れた森を切り開いて溪流にせり出す「ウッドデッキサイト」や宙に浮かぶような「ステージサイト」を作った。

一方で、電灯や安全柵などは最低限に抑えた。外部との連絡手段は管理棟の有線電話1台。山田社長は「ほぼないない尽くし」と笑いながら、それが一番の自慢だと胸を張る。

快適性が売りの高規格キャンプ場とは一線を画した考え方は、掛川が全国に発信してきた「スローライフ」につながる。松山さんは「絶対に携帯電話が鳴らない空間で、コーヒーを飲んだりするひとときを楽しんでほしい。こんなぜいたくはないですよ」と話す。慌ただしい現代社会だけに、非日常性が訴求力になると期待する。

再整備された明ヶ島キャンプ場は、名称も「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」に変更し、22日から11月末までプレオープンする。正式な営業は来春からの予定。詳しい施設案内はホームページへ。



新たなコンセプトで再整備された明ヶ島キャンプ場 = 14日、掛川市炭焼



炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場

« 前へ

1

2

次へ »